

独の脱原発先導 シュレーダー前首相に聞く



人穀

故、86年の旧ソ連・チエルノブイリ原発事故の際、西欧では大規模な運動が起つた「また、再生可能エネルギー」に投資したかった。エネル

A black and white photograph of Angela Merkel, the German Chancellor. She is shown from the chest up, wearing a dark blazer over a patterned blouse. She has short, light-colored hair and is looking slightly to her right with a faint smile. The background is a plain, light-colored wall.

今も変わらぬ。」  
—— 脱原発は極めて斬新だ  
—— た。与党の反対意見があ  
—— が。だからこそ、か。  
—— 「あつた」  
—— 国際社会が今、どうな  
—— 教訓を復讐へ吹き込んだ  
—— 「そつの垂れ。チルノブ  
—— 事故の年である86年8月の  
—— ジャパン大会で、原力代  
—— 日本は、工キルギー需要譜  
—— わる新技術の導入才手電力  
—— との合意により条件で脱原発  
—— 和音をつける必要がある。」  
—— たすため『の書』を重ね  
—— パオラ、風力や太陽光、ハイオ  
—— リー自身の再生エネルギー。  
—— いり自身省エネ。三日目、  
—— 意しないれば、洗濯機す  
—— るやと通じた。ただ合意を  
—— トロイの原発停止を始めたが、かくは  
—— 停止するご開業決定した。  
—— に誕生したマルケル保守・中道連立  
—— 政権は、庶民界の意向を受け脱原発  
—— に譲る原発の順次廃止を始めたが、かくは  
—— 停止して、6月6日、22年未満にて  
—— 2001年、シレーテー政権が脱  
—— 変更。しかし、福島原発事  
—— 0年やめ原発が核開始。  
—— トロイの原発政策 196  
—— 政策を先送りし、7月基ある

即時原発事故をめぐる90年 得ることか好ましかった。連合・緑の党と連立した。電力業界は、運転開始から認じた「——当時、福島原発事故の35年以降に亘った原発でなれば必ず停止されよう」と反対。粘り強く交渉業界との対話を重ねて、大災害が起らぬことを確めた。——「規定の事故を予見していなかった」のな核エネルギーの歴史を振り返る。35年以降に亘った原発でなれば必ず停止されよう」と反対。粘り強く交渉業界との対話を重ねて、大災害が起らぬことを確めた。——「規定の事故を予見していなかった」のな核エネルギーの歴史を振り返る。

「廃棄物を扱ひ始めた」の世代に敵意を払つて放射能減量が進むへと長じ。海からかいたい。放射性物質燃素の処分場所の解決策がかかる。この番目は、使用済み核燃料を換換する必要がある。また東日本大震災は福島県の内省を迫つてゐる。科学深い内省を迫つてゐる。科学の方ももじりと探る人では生きてゐるアーチ前首相の声聞いた。

日本は大規模な省エネ策を